

札幌市の救急隊が対応した院外心停止の 患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 救急隊の心肺蘇生の質に関する研究

【研究機関】 北海道大学病院 救急科

【研究責任者】 早川 峰司 （先進急性期医療センター・助教）

【研究の目的】

現在、心停止患者に対する心肺蘇生における胸骨圧迫の重要性が強調されています。胸骨圧迫の回数やテンポ、深さが不十分になると、自己心拍再開率が悪化し予後不良の原因となることが指摘されています。近年、心肺蘇生中の胸骨圧迫のテンポや、脈派、脳内酸素飽和度をモニタリングできる機器(NIRO-CCR1, 浜松ホトニクス株式会社, 浜松市)が発売となり、その有用性が期待されています。今回、札幌市消防局において数台の NIRO-CCR1 の試用が計画されています。それに合わせて、NIRO-CCR1 により、各救急隊による心肺蘇生の質を評価しつつ、NIRO-CCR1 の導入効果の検証を行います。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 27 年 7 月 1 日から平成 28 年 1 月 31 日の間に札幌市の救急隊が対応した院外心停止の患者さん

●利用する検体およびカルテ情報

年齢、性別、心停止の原因、時間経過、予後、NIRO-CCR1 関連情報（脳内酸素飽和度、ヘモグロビン脈派成分）

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院救急科 担当医師 早川 峰司

電話 011-706-7377 FAX 011-706-7378